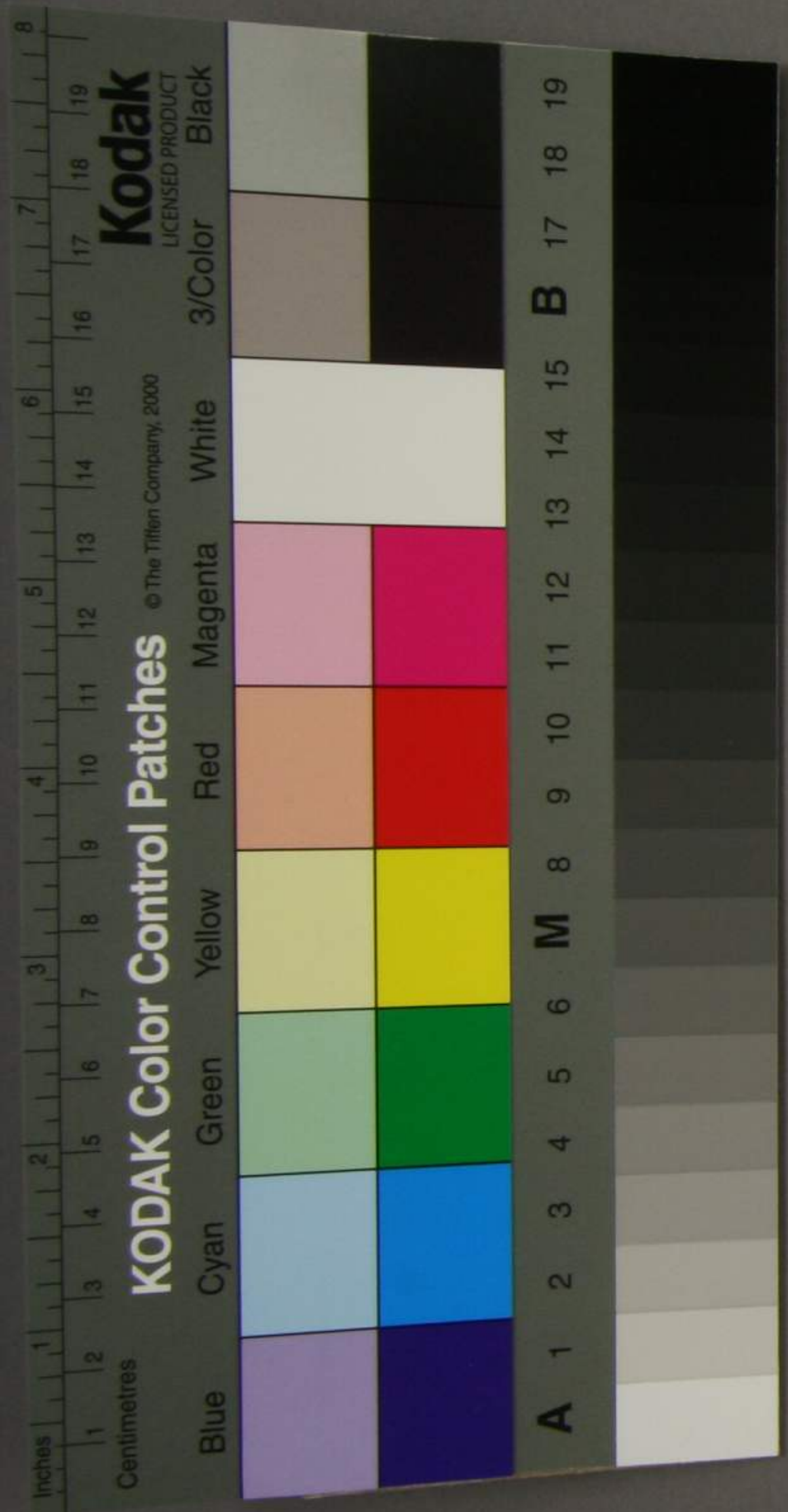


414  
A 182



大文保釋理大臣殿、往後ノ書信并ニ  
電報等蕃地事務局ニ於テ秘密ニ決  
シテ不漏苦、處別紙電報、寫志方  
之勝宅、増田五等議官持参為相見  
候ニ付乃寫取蕃地事務局、旨合致ニ  
候哉否内々問合候處、同局ニテケ様ノ書  
類他局、漏洩候答無之依テ出處可及  
矣議候ニ付表向御懸合旨之度趣懸合  
来候ニ付猶出處及探偵候處海江田四等  
議官左院、持参シ、諸人、為相見候増田

大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄贈



議官モ同人ヨリ借り受寫取候趣、御坐候

一本月五日大久保并理大臣北京ニ於テ談  
判アリ遂ニ結局整ハス其レカテ大久保  
帰朝ノ事ヲ支那政府ニ告知セシ、彼レ  
和ヲ傷フハ欲セス也レ凡帰朝ノ事ハ  
止メスト云故、只今テ摸探戰ヲ決スルテ  
公懸懸合レテ引拂、ナルカ或ハ支那政府  
ヲ差置勝、キ、チウ工開墾ヲ始ルカノニツ  
ナリ此語レ決レテ後八日カ九日ノ内ニ引拂  
成ル可レ益満向井中村江田ハ北地ノ  
地理研究局キ台湾ニ帰リタリクロミルハ

